

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
児童英語教育概論			13701	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
高田 悦子	選択	2	幼稚園・小学校にて30年以上、J・shineの小学校指導者認定コースにて10年以上の指導経験あり。			

授業の到達目標

小学校外国語活動・外国語科の学習指導の知識、第2言語習得の基礎的な知識、授業に必要な英語コミュニケーション能力、教材や評価の基礎知識を、小・中・高等学校の連携も視野に入れて身に付ける。

このクラスでは、KAISEIパーソナリティのI（知性）を養う。

授業の概要

学習指導要領における「3つの資質・能力」を踏まえた「5つの領域」及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法、小学校の外国語教育に必要な基礎的な知識を、以下の「授業計画」の具体的項目に従って身に付ける。毎回「10分間 Classroom English」を行う。

授業計画

- 1 小学校英語教育の目的(1)小学校学習指導要領の理解
- 2 小学校英語教育の目的(2)世界の言語政策事情
- 3 小学校英語教育の目的(3)異文化理解
- 4 小学校英語教育の目的(4)児童文学
- 5 第2言語習得研究(1)年齢と言語習得
- 6 第2言語習得研究(2)学習と環境
- 7 第2言語習得研究(3)学習者要因、指導者要因
- 8 第2言語習得研究(4)児童期の第2言語習得における語彙習得
- 9 第2言語習得研究(5)児童期の第2言語習得における文法習得
- 10 第2言語習得研究(6)児童期の第2言語習得における音声習得
- 11 技能の育成(1)リスニング
- 12 技能の育成(2)スピーキング
- 13 技能の育成(3)リーディング
- 14 技能の育成(4)ライティング
- 15 まとめ、小学校英語指導に求められる資質と能力

授業の方法

テキストの解説と模擬授業を中心に行う。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点30%、プレゼンテーション50%、レポート20%

欠席について

3分の2以上の出席が必要。

テキスト

テキストは授業内で購入すること。
適宜プリントを配布する。

参考図書

【参考文献】

『小学校英語はじめる教科書 改訂版』吉田研作（監修）小川隆夫、東仁美（著） mpi松香フォニックス 2021
『小学校学習指導要領（平成29年度告示）解説 外国語活動・外国語編』文部科学省、平成30年

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
英語科教育法 I			13705	I	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
天野 史子	選択	2	中学校・高等学校英語科教諭、小学校英語活動支援員			

授業の到達目標

小学校・中学校・高等学校における英語学習・指導の知識、授業指導、学習評価の基礎を、次に続く英語科教育法Ⅱ、Ⅲ、Ⅳの授業との連携も視野に入れて身に付ける。
英語教師として学習指導を行うための基礎づくりを目指す。英語そのものに関する知識や運用能力を向上させながら、第二言語習得のプロセスや運用のメカニズムに関する基礎知識を学ぶ。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）、I（知性）、In（国際性）、E（倫理）を学ぶ。

授業の概要

授業の概要：学習指導要領における「3つの資質・能力」を踏まえた「5つの領域」の指導及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法指導についての基礎的な知識及び複数の領域を統合した指導法を、以下の「授業計画」の具体的項目に従って身に付ける。
教師にとってもっとも重要なのは、自分に与えられた実際の「教育の場」で最善の方策を生み出す能力であると思われるが、そのためには、実際の英語学習指導にどのようなファクターがどのように作用しているかを見極めることができればならない。それぞれの生徒に各自の持っている潜在能力を学習場面で最大限に発揮させることが教師にとっての重要課題と捉え、学生が積極的に考え、課題発表や実践をしてもらう予定である。

授業計画

- 1 英語教育の目的(1)小・中・高等学校学習指導要領の理解
- 2 英語教育の目的(2)小・中・高等学校を通した英語教育の在り方
- 3 第2言語習得研究(1)学習者の特質:認知的要因
- 4 第2言語習得研究(2)学習者の特質:情意的要因
- 5 第2言語習得研究(3)学習者の特質:動機付け
- 6 英語教材研究(1)音声とつづり字
- 7 英語教材研究(2)語彙と表現
- 8 英語教材研究(3)文法と情報構造
- 9 英語教材研究(4)Eラーニング、ICT教育
- 10 音声言語指導 リスニング・スピーキング(やり取り・発音)の指導
- 11 音声言語指導 リスニング・スピーキングの授業展開、ティーミング

- 12 書記言語指導 リーディング・ライティングの指導
- 13 言語能力の測定と評価(1)パフォーマンス評価等評価方法と評価基準
- 14 言語能力の測定と評価(2)テストの意義と作成上の留意点
- 15 総括 英語教師の資質と能力

授業の方法

講義のほかに発表を多く取り入れる。

準備学修

あらかじめテキストを読み、予習して授業に臨むこと。また、授業内容を復習して、毎回の課題発表に備えること。

課題・評価方法、その他

平常点40%、発表点40%、レポート20%

欠席について

欠席・遅刻については一定の比率で減点する。

テキスト

『新・グローバル時代の英語教育ー新学習指導要領に対応した英語科教育法』岡秀夫 編著 成美堂

参考図書

『中学校学習指導要領解説 外国語編 [最新版]』（文部科学省）
『高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編 [最新版]』（文部科学省）
その他、必要に応じて、随時紹介する。

留意事項

授業中の意欲、積極的学習態度を評価する。課題発表に際しては、発表者と聞く側の学生が質疑応答を通して議論を深めること。

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
キッズ・イングリッシュⅡ	ET		13729	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
天野 史子	選択	2	児童英語講師、児童英語・小学校英語指導者養成指導、 小学校英語活動支援員			

授業の到達目標

キッズ・イングリッシュⅠで体験した指導法を活用し、年齢・発達過程にあった指導案を作成する。学生自身が、将来、幼稚園、小・中学校、高校、英会話学校等での指導に役立つ授業創りを考え、幼稚園、小学校などで、実際に授業を体験する。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）を考える。

授業の概要

春学期で体験した指導法とその意義を理解し、児童期の学習者の特性と英語授業のあり方を踏まえた音声、文字、語彙・表現、文法指導についての知識と技術を活用し、指導案作成、教材教具作成、模擬授業を行う。その上で、実際に小学校現場などでの授業体験を通じて、学生自身が将来の児童英語指導者としての実践力を身につける。

授業計画

- 1 児童の発達段階にあった英語活動を創る(1)「指導案作成のポイント」
- 2 児童の発達段階にあった英語活動を創る(2)「絵カード・教具・ワークシート作成法」
- 3 児童の発達段階にあった英語活動を創る(3)「指導案草案発表」
- 4 実習授業指導案作成(1)『教材研究』
- 5 実習授業指導案作成(2)『教具作成』
- 6 実習授業指導案作成(3)『評価の観点と振り返りカード作成』
- 7 実習授業指導案発表と模擬授業
- 8 第1回 小学校英語活動 実習授業
- 9 実習リフレクション
- 10 実習授業指導案作成(4)『教材研究・指導案発表』
- 11 実習授業指導案作成(5)『教具作成』
- 12 実習授業指導案作成(6)『評価の観点と振り返りカード作成』
- 13 実習授業指導案発表と模擬授業
- 14 第2回小学校英語活動 実習体験
- 15 まとめ 授業評価、ポートフォリオ作成
- 16

授業の方法

指導案作成、教材・ワークシート作成、模擬授業をした上で、小学校英語活動の指導・支援を実際に現場で体験する。

準備学修

指導案・教材を作成し、模擬授業の練習をしておくこと

課題・評価方法、その他

平常点70%、レポート30%

欠席について

参加・発表型授業であり、小学校英語活動実習を行うので必ず出席すること

テキスト

授業時にハンドアウト、及び、PCで教材配布

参考図書

「小学校英語教育の進め方」岡秀夫、金森強 成美堂
「小学校英語の教育法 理論と実践」アレン玉井光江 大修館書店
「小学校英語 はじめる教科書」小川隆夫・東仁美 mpi

留意事項

子どもに英語を教える授業を、自らが積極的に創る。
実習に出かけるときは、指導者としてふさわしい服装・態度で臨むこと。

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
英語科教育法Ⅲ			13737	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
吉野 美智子	選択	2				

授業の到達目標

中学校・高等学校の英語教師として学習指導を行うために必要な、外国語教育に関する理論と教授法の基礎知識及び教室での基礎的な指導技術を修得する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

授業の概要

英語教育の第一目標である英語のコミュニケーション能力を、ほぼ日本語だけで日常生活を送る生徒たちに身につけさせるには、授業において、どのような創意工夫が必要であるかを、第1・第2言語習得や言語教育に関する様々な理論を踏まえながら、模擬授業やディスカッション等を通して考える。

授業計画

- 1 英語教育の目標と学習指導要領
- 2 第1言語習得と第2言語習得
- 3 主な外国語教授法の流れ(1)文法・翻訳法～ダイレクト・メソッド
- 4 主な外国語教授法の流れ(2)オーディオ・リンガル・メソッド
- 5 コミュニカティブ・ランゲージ・ティーチング(CLT)の言語理論と指導原理(Dell Hymes)
- 6 コミュニカティブ・ランゲージ・ティーチング(CLT)の言語理論と指導原理(Canale and Swaine, Henry Widdowson)
- 7 コミュニカティブ・ランゲージ・ティーチング(CLT)の言語理論と指導原理(Keith Johnson)
- 8 授業の準備、学習指導案の作成
- 9 授業の工夫(1): Warm-upとreview、文法・文型の導入
- 10 授業の工夫(2): 文法・文型の練習と発展活動
- 11 授業の工夫(3): 語彙の導入と指導、本文の読解指導
- 12 模擬授業(Grammarを中心に)
- 13 模擬授業(Readingを中心に)
- 14 模擬授業(Communicationを中心に)
- 15 まとめ

授業の方法

講義、ワークショップ、DVD視聴、模擬授業、ディスカッションによって授業を進める。

準備学修

・ 次回のテーマについて、テキストの該当箇所を読んでおくこと。
・ Grammar I～IIIを徹底的に復習するなどして、常に文法力の向上に努めること。
・ 中学校及び高等学校の学習指導要領を読んでおくこと。Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点30%、レポート30%、模擬授業40%

欠席について

出席点（100点満点）は全体の20％とし、欠席は1回につき20点減点、遅刻・早退は1回につき6点減点する。

テキスト

米山朝二・杉山敏・多田茂 『[新版]英語科教育実習ハンドブック』（大修館）
土屋澄男（編著）他『新編 英語科教育法入門』（研究社）
文部科学省『中学校学習指導要領解説 外国語編』（開隆堂）
文部科学省『高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編』（開隆堂）
必要に応じてハンドアウトを配布する。

参考図書

授業中に随時紹介する。

留意事項

・ 平常点には、模擬授業、出席状況、授業への参加・貢献度の評価が含まれる。
・ 毎授業に出席することはもちろんであるが、それだけではなく、熱意をもって学習する態度が必要である。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲示板を確認のこと。

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
英語科教育法Ⅳ			13741	Ⅲ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
吉野 美智子	選択	2				

授業の到達目標

中学校・高等学校の英語教師として学習指導を行うために必要な、外国語教育に関する基礎知識及び教室での基礎的な指導技術を修得する。このクラスでは、KAISEIパーソナリティのA（自律）とI（知性）を養う。

授業の概要

英語科教育法Ⅰ～Ⅲで修得した英語教育に関する知識や指導技術を各々の模擬授業において実践する。そして、模擬授業における改善すべき点や指導上の困難点及びその解決方法等についてディスカッションを行い、教育実習での授業に備える。また、学習指導上の評価と及び評価方法の一つであるテストについても学ぶ。

授業計画

- 1 学習指導要領における各科目の目標と内容
- 2 模擬授業の準備(1): 1時間の授業の流れ(中学校)
- 3 模擬授業の準備(2): 1時間の授業の流れ(高等学校)
- 4 模擬授業の準備(3): 教科書全体の構成、扱う単元の教材研究
- 5 模擬授業の準備(4): 授業の構成と学習指導案の作成
- 6 模擬授業の準備(5): ALT等とのチーム・ティーチング
- 7 模擬授業の準備(6): 英語でのインタラクション
- 8 模擬授業の準備(7): 授業における各活動の目的と工夫1
- 9 模擬授業の準備(8): 授業における各活動の目的と工夫2
- 10 評価とテスト(Evaluation and Testing)
- 11 模擬授業と授業観察(Grammarを中心に)
- 12 模擬授業と授業観察(Readingを中心に)
- 13 模擬授業と授業観察(Communicationを中心に)
- 14 模擬授業と授業観察(Writingを中心に)
- 15 模擬授業の総括、教育実習に向けて

授業の方法

DVDの視聴、ワークショップ、模擬授業を中心とする。各活動の後にはディスカッションを行う。

準備学修

- 1 単元の学習指導案を作成し、それに基づいた模擬授業（各自2回

程度）を行うための準備（教材研究、教具の作成、授業の練習等）をすること。Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点（模擬授業観察を含む）30%、模擬授業 70%

欠席について

出席点（100点満点）は全体の15%とし、欠席は1回につき20点減点、遅刻・早退は1回につき6点減点する。

テキスト

米山朝二・杉山敏・多田茂 『[新版] 英語科教育実習ハンドブック』（大修館）
土屋澄男（編著）他『新編 英語科教育入門』（研究社）
文部科学省『中学校学習指導要領解説 外国語編』（開隆堂）
文部科学省『高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編』（開隆堂）
必要に応じてハンドアウトを配布する。

参考図書

授業中に随時紹介する。

留意事項

- ・評価は、学習指導案の作成、模擬授業、模擬授業の観察・参加の記録、出席状況、日頃の学習態度を基準に行う。
- ・毎授業に出席することはもちろんであるが、それだけではなく、熱意をもって授業に参加・貢献する態度が必要である。

オフィスアワー

直接教員に質問したい場合は、オフィスアワーを活用すること。
各教員のオフィスアワーの日時については教務課前掲し板を確認のこと。

資格科目〈キッズ・教職〉	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
キッズ・イングリッシュⅢ（実習）			13733	Ⅲ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
天野 史子	選択	1	児童英語講師、児童英語・小学校英語指導者養成指導、小学校英語活動支援員			

授業の到達目標

グローバル化に対応した英語教育改革が実施され、2020年度小学校英語は教科化された。小学校英語指導者養成のキッズ・イングリッシュ・プログラムの最終段階として、学生自身が、英語活動・英語教育を、活動内容の企画、活動案・教具作成、模擬授業での練習を積み重ねた後、幼稚園や小学校現場で指導者として、実習体験する。このクラスではKAISEIパーソナリティのIn（国際性）を養い、K（思いやり）を考える。

授業の概要

本授業では、キッズ・イングリッシュⅠ、Ⅱで学習した小学校英語教育を、幼稚園・小学校現場で出前授業の形で授業体験する。この体験から、理論を踏まえた実践、かつ、実践から理論の再構築へと、理論と実践の融合を計り、児童英語教育とは何かを体系的に考える。実習計画①実習する指導案・教材教具を作成し、授業準備を行う。②作成した指導案で自身が小学校現場で授業できるように、模擬授業で練習する。③実習園・実習校の通常授業で、実習授業を行う。④実習授業の結果を評価し、次の段階を目指す。

授業計画

- 1 小学校英語教育実習授業
- 2 第1回 小学校英語教育実習授業
- 3 第1回 小学校英語教育実習授業
- 4 第1回 小学校英語教育実習授業
- 5 第1回 小学校英語教育実習授業
- 6 第1回 小学校英語教育実習授業
- 7 第1回 小学校英語教育実習授業
- 8 第1回 小学校英語教育実習授業体験
- 9 第2回 小学校英語教育実習授業
- 10 第2回 小学校英語教育実習授業
- 11 第2回 小学校英語教育実習授業
- 12 第2回 小学校英語教育実習授業
- 13 第2回 小学校英語教育実習授業
- 14 第2回 小学校英語教育実習授業体験
- 15 総括
「指導目標・授業・評価の一体化」

授業の方法

理論、ワークショップでの指導法体験を活かし、自らが指導案を作成、実際に小学校現場での英語活動を指導・支援する。

準備学修

指導案計画・教材研究、教材作成、模擬授業練習などを行っておく。

課題・評価方法、その他

平常点70%、レポート30%

欠席について

参加・発表型授業であり、小学校英語活動実習を行うので必ず出席すること。

テキスト

授業時にハンドアウト、及び、PCで教材配布

参考図書

『小学校英語教育の進め方』岡秀夫、金森強 成美堂
『小学校英語の教育法 理論と実践』アレン玉井光江 大修館書店
『小学校英語 はじめる教科書』小川隆夫・東仁美 m.p.i.

留意事項

実習に出かけるときは、指導者としてふさわしい服装・態度で臨むこと。

専門分野科目 くこどもの生活世界	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
初等英語科指導法			17467	Ⅱ	春	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
高田 悦子	選択	2	幼稚園・小学校にて30年以上、J-shineの小学校指導者認定コースにて10年以上の指導経験あり。			

授業の到達目標

小学校外国語教育における背景知識や教材、多様な指導技術、評価などを、小学校の役割及び中・高等学校の外国語教育との連携を視野に入れて身に付ける。
このクラスでは、KAISEIパーソナリティのK（思いやり）の育成を目指す。

授業の概要

小学校学習指導要領における「5つの領域」の指導及び各領域を支える音声、文字、語彙・表現、文法指導について、児童期の学習者の特性と英語授業の在り方を踏まえた知識と技術を以下の「授業計画」の具体的項目に従って身に付ける。

授業計画

- 1 小学校外国語教育の目標・内容(1)年間指導計画と小中高連携
- 2 小学校外国語教育の目標・内容(2)教材研究と学習指導案作成法
- 3 小学校外国語教育の目標・内容(3)ICTの効果的な活用法
- 4 コミュニケーション能力を育成する指導法 ティームティーチング
- 5 コミュニケーション能力を育成する指導法 発話を促す活動
- 6 小学校英語教材研究(1)音声習得中心の活動
- 7 小学校英語指導法(ワークショップ)(1)音声習得中心の活動
- 8 小学校英語教材研究(2)文字習得中心の活動
- 9 小学校英語指導法(ワークショップ)(2)文字習得中心の活動
- 10 小学校英語教材研究(3)表現形式に焦点を当てた活動
- 11 小学校英語指導法(ワークショップ)(3)表現形式に焦点を当てた活動
- 12 小学校英語教材研究(4)言語使用の場面・背景(物語)に焦点を当てた活動
- 13 小学校英語指導法(ワークショップ)(4)物語の場面・背景に焦点を当てた活動
- 14 小学校英語 模擬授業
- 15 Can・Doによる英語能力の測定とパフォーマンス評価、模擬授業の振り返り

授業の方法

テキストの解説と模擬授業を中心に行う。

準備学修

Webで参照すること。

課題・評価方法、その他

平常点30%、プレゼンテーション50%、レポート20%

欠席について

3分の2以上の出席が必要。

テキスト

テキスト 『小学校英語はじめる教科書 改訂版』吉田研作（監修）小川隆夫、東仁美（著） mpi松香フォニックス
適宜プリントを配布する。

参考図書

『小学校学習指導要領〈平成29年度告示〉解説 外国語活動・外国語編』文部科学省、平成30年
『Let's Try! 1』『Let's Try! 2』文部科学省
その他、必要に応じて、随時紹介する。

専門分野科目 くこどもの生活世界	クラス		科目コード	配当年次	期 間	人数制限
キッズ・イングリッシュⅡ	PC		17469	Ⅱ	秋	
担当者名	区分	単位	科目と関係のある実務経験			
天野 史子	選択	2	児童英語講師、児童英語・小学校英語指導者養成指導、小学校英語活動支援員			

授業の到達目標

キッズ・イングリッシュⅠで体験した指導法を活用し、年齢・発達過程にあった指導案を作成する。学生自身が、将来、幼稚園、小・中学校、高校、英会話学校等での指導に役立つ授業創りを考え、幼稚園、小学校などで、実際に授業を体験する。このクラスではKAISEIパーソナリティのK（思いやり）を考える。

授業の概要

春学期で体験した指導法とその意義を理解し、児童期の学習者の特性と英語授業のあり方を踏まえた音声、文字、語彙・表現、文法指導についての知識と技術を活用し、指導案作成、教材教具作成、模擬授業を行う。その上で、実際に小学校現場などでの授業体験を通じて、学生自身が将来の児童英語指導者としての実践力を身につける。

授業計画

- 1 児童の発達段階にあった英語活動を創る(1)「指導案作成のポイント」
- 2 児童の発達段階にあった英語活動を創る(2)「絵カード・教具・ワークシート作成法」
- 3 児童の発達段階にあった英語活動を創る(3)「指導案草案発表」
- 4 実習授業指導案作成(1)『教材研究』
- 5 実習授業指導案作成(2)『教具作成』
- 6 実習授業指導案作成(3)『評価の観点と振り返りカード作成』
- 7 実習授業指導案発表と模擬授業
- 8 第1回 小学校英語活動 実習授業
- 9 実習リフレクション
- 10 実習授業指導案作成(4)『教材研究・指導案発表』
- 11 実習授業指導案作成(5)『教具作成』
- 12 実習授業指導案作成(6)『評価の観点と振り返りカード作成』
- 13 実習授業指導案発表と模擬授業
- 14 第2回小学校英語活動 実習体験
- 15 まとめ 授業評価、ポートフォリオ作成
- 16

授業の方法

指導案作成、教材・ワークシート作成、模擬授業をした上で、小学校英語活動の指導・支援を実際に現場で体験する。

準備学修

指導案・教材を作成し、模擬授業の練習をしておくこと

課題・評価方法、その他

平常点70%、レポート30%

欠席について

参加・発表型授業であり、小学校英語活動実習を行うので必ず出席すること

テキスト

授業時にハンドアウト、及び、PCで教材配布

参考図書

『小学校英語教育の進め方』岡秀夫、金森強 成美堂
『小学校英語の教育法 理論と実践』アレン玉井光江 大修館書店
『小学校英語 はじめる教科書』小川隆夫・東仁美 mpi

留意事項

子どもに英語を教える授業を、自らが積極的に創る。
実習に出かけるときは、指導者としてふさわしい服装・態度で臨むこと。